

# 2013年3月期 第3四半期 連結決算概況

株式会社マルハニチロホールディングス

# 1. 連結損益計算書

(単位:億円)

	2012年12月期		増減	年間計画	進捗率
	実績	前年同期			
売上高	6,223	6,313	△ 90	8,400	74%
売上原価	5,357	5,435	△ 79		
売上総利益	867	878	△ 11		
販売費・一般管理費	739	707	31		
営業利益	128	170	△ 42	165	78%
営業外収益	39	27	12		
営業外費用	30	44	△ 15		
経常利益	137	153	△ 16	145	94%
特別利益	86	5	82		
特別損失	42	54	△ 12		
税金等調整前当期純利益	182	104	78		
法人税等	90	59	31		
少数株主利益	△ 9	7	△ 15		
四半期純利益	101	38	63	100	101%

当社グループは中期三カ年経営計画「ダブルウェーブネクスト」の2年目となる当期の目標達成に向け、冷凍食品会社の買収や不採算子会社の売却等事業の選択と集中を進め、収益力の強化と資本の最適化に努めて参りました。また、資本効率の向上と株主還元を図るため、自己株式の取得及び消却を行いました。当該期間の実績は、前年対比で売上高1.4%、営業利益24.8%、経常利益は10.2%と、それぞれ減少。純利益は厚生年金基金代行返上により、前年比165.9%の増加となりました。

## 2. 連結貸借対照表

(単位:億円)

	12年12月末	12年3月末	増減		12年12月末	12年3月末	増減
流動資産	2,905	2,422	484	負債 (うち有利子負債)	4,338 3,145	3,943 2,910	395 236
固定資産	2,235	2,259	△ 24	純資産	802	737	65
資産合計	5,140	4,681	459	負債純資産 合計	5,140	4,681	459

総資産は主として売上債権の季節的な増加により、前連結会計年度末から459億円増加しました。負債総額は仕入債務及び短期借入金増加により、395億円増となりました(但し、前年同期比では負債総額は22億円の減少、内有利子負債は48億円の減少)。

### 3. ユニット別実績

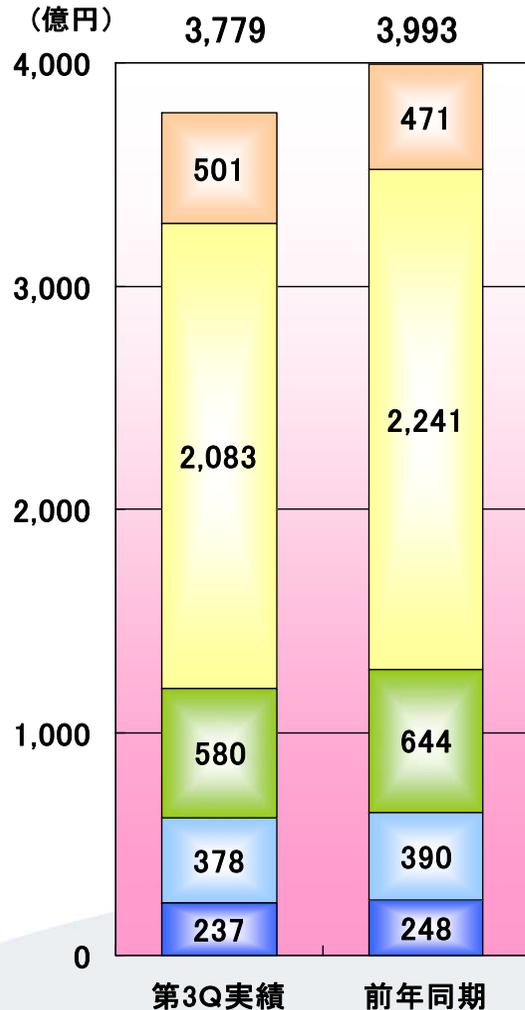
(単位: 億円)

	2012年12月期									
	売上高					営業利益				
	実績	前年同期	増減	年間計画	進捗率	実績	前年同期	増減	年間計画	進捗率
漁業・養殖ユニット	237	248	△ 11	354	67%	12	20	△ 8	15	80%
北米ユニット	378	390	△ 11	483	78%	11	10	1	12	92%
水産商事ユニット	580	644	△ 64	804	72%	28	45	△ 17	29	97%
荷受ユニット	2,083	2,241	△ 158	2,804	74%	△ 14	8	△ 22	8	△ 175%
戦略販売ユニット	501	471	30	617	81%	9	6	3	5	180%
水産セグメント計	3,779	3,993	△ 214	5,062	75%	47	89	△ 42	69	68%
冷凍食品ユニット	1,110	909	201	1,474	75%	38	27	10	42	90%
加工食品ユニット	531	574	△ 43	745	71%	16	26	△ 10	29	55%
畜産ユニット	311	357	△ 45	462	67%	7	7	0	13	54%
化成品ユニット	99	102	△ 4	144	69%	9	12	△ 3	12	75%
アジア・オセアニアユニット	233	214	19	295	79%	15	13	1	11	136%
食品セグメント計	2,284	2,156	128	3,120	73%	84	86	△ 2	108	78%
保管・物流セグメント計	119	114	5	150	79%	12	12	1	13	92%
その他セグメント計	41	51	△ 9	67	61%	7	9	△ 2	9	78%
全社セグメント計						△ 23	△ 25	3	△ 35	66%
<b>合計</b>	<b>6,223</b>	<b>6,313</b>	<b>△ 90</b>	<b>8,400</b>	<b>74%</b>	<b>128</b>	<b>170</b>	<b>△ 42</b>	<b>165</b>	<b>78%</b>

特に水産物市況において昨年の震災特需剥落を織り込み減益計画となっておりますが、荷受事業での想定外の損失が響き、営業利益は計画をも下回っています。

# 3-1. 水産セグメント

## 売上高



## 営業利益



## トピックス

### 1. 漁業・養殖ユニット

漁業は、海外まき網漁が好調だったものの、  
沖合まき網漁は不調

養殖はマグロの相場が上昇したものの、カ  
ンパチの相場は低迷

### 2. 北米ユニット

助宗鱈は、加工・販売共順調に推移。ズワ  
イ蟹は漁獲枠増により増収。鮭は不漁。

### 3. 水産商事ユニット

チリ銀鮭の価格下落が冷凍魚全般に影響。  
エビの輸入コストは引き続き上昇。

### 4. 荷受ユニット

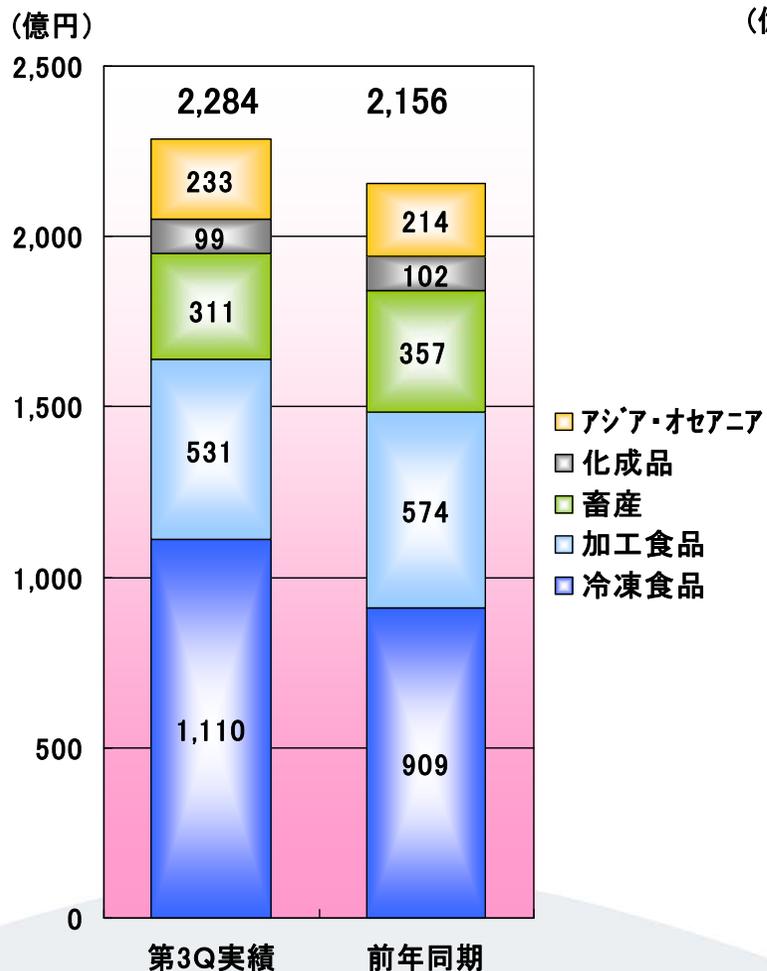
チリ産銀鮭市場の下落により、損失大。

### 5. 戦略販売ユニット

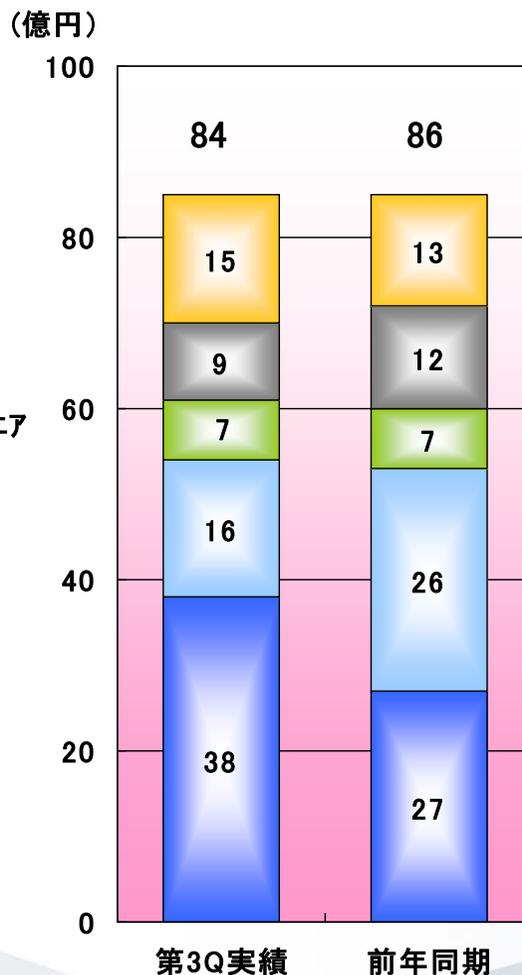
量販店やCVS、外食への積極的な販売が  
貢献。

# 3-2. 食品セグメント

## 売上高



## 営業利益



## トピックス

### 1. 冷凍食品ユニット

震災から生産が回復し、重点カテゴリー商材が伸長。ヤヨイ食品加入も貢献。

### 2. 加工食品ユニット

全般的に販売不振。ペットフードやデザート原料コスト上昇に加え缶詰の販促費増加。

### 3. 畜産ユニット

牛肉・加工品事業において利益率向上、豚肉や魚粉の取扱が減少。

### 4. 化成品ユニット

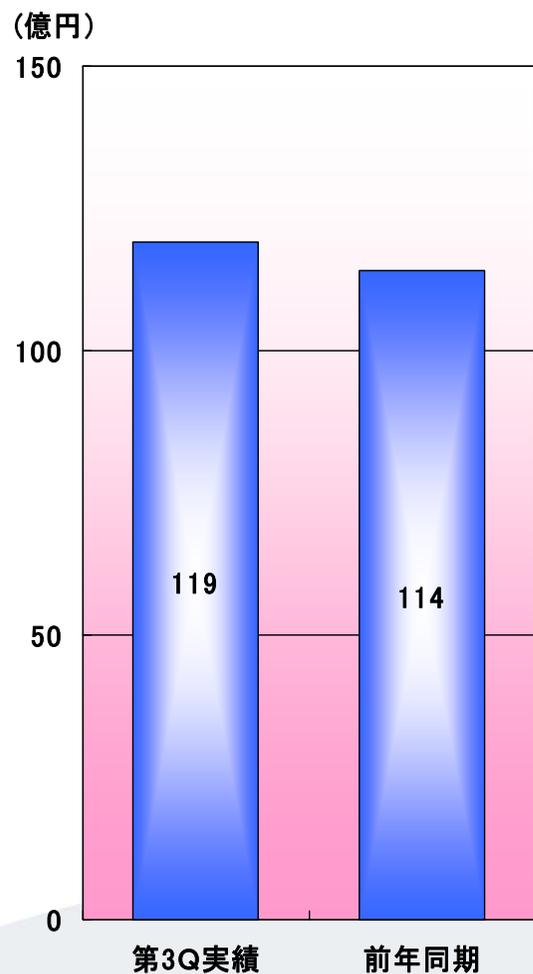
培地用エキス・バイオ関連サプリメント不振、エキス調味料類は好調。

### 5. アジア・オセアニアユニット

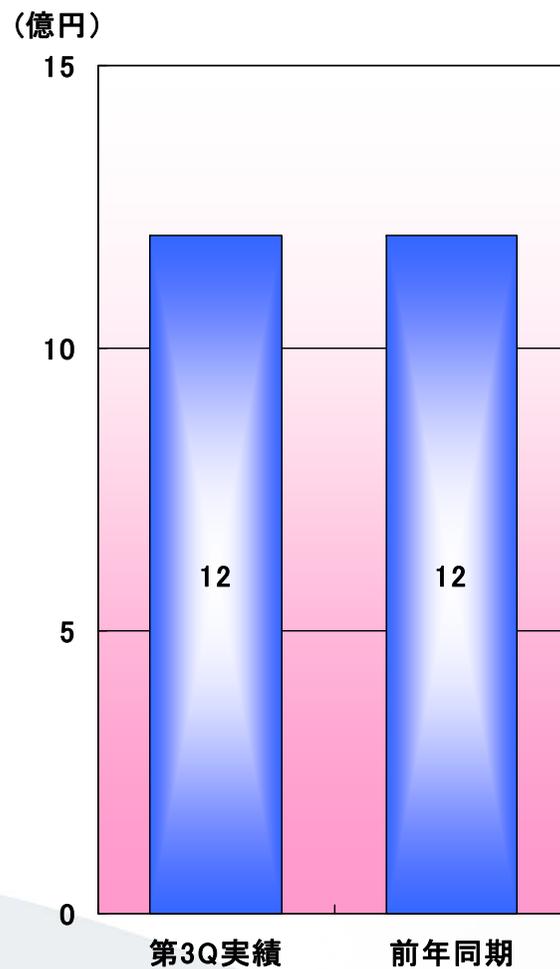
米国・欧州向けの販売が不振の中、日本向けの販売は安定。ツナ缶詰コスト増も、販売価格に転嫁。

## 3-3. 保管・物流セグメント

売上高



営業利益



### トピックス

在庫数量は概ね高水準で推移。

## 世界に美味しいしあわせを

当資料に記載されております計画や見通し、戦略など歴史的事実でないものは将来の業績に関する見通しであり、これらは現時点で入手できる情報から得られた判断に基づいております。実際の業績は様々な重要要素により、これらの見通しとは異なる結果をもたらしうることをご承知おきください。また、本資料は著作権やその他本書類にかかる一切の権利は株式会社マルハニチロホールディングスに属します。

MARUHA NICHIRO